

Panasonic[®] フロートレス電極保持器

8M3 421 005

施工説明書

取扱説明書

<対象製品品番はカタログなどでご確認ください>

施工説明書

施工店様へ

- 施工には電気工事士の資格が必要です。
- 施工前に必ずお読み頂き、確実に配線してください。
- 施工完了後、この説明書を取扱者様へお渡しください。

安全上のご注意

ケガや事故防止のため、以下の点は必ず守ってください。

危険

- **施工・点検時には必ず主電源を切る**
～電源が入ったままの施工は感電の原因になります～
- **ガソリン、灯油、重油などの液体には使用しない**
～守らないと爆発や火災の原因になります～
- **電源回路、および出力回路と電極回路はまちがいなく正しく接続する**
～守らないと感電や発熱・発火の原因になります～

注意

- **端子ネジは標準締付トルクで確実に締付ける**
～端子ネジのゆるみは発熱・発火の原因になります～
標準締付トルク 1.2～1.8 N・m

仕様

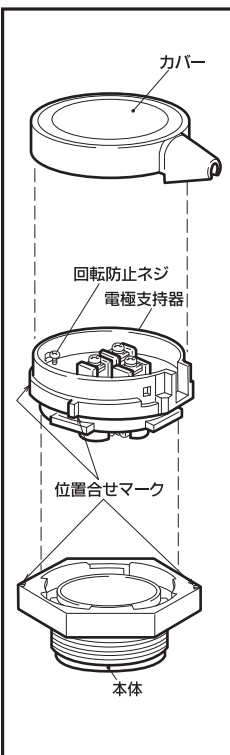
タイプ	寸法図 単位:mm	極数	標準数	
			1,000 mまでのとき	1,000から4,000 mのとき
54型		2	〔2極〕PS-2 (抵抗なし)	
		3	〔3極〕PS-3R (10 kΩ抵抗付)	〔3極〕PS-3RL (5 kΩ抵抗付)
		4	〔4極〕PS-4R (10 kΩ抵抗付)	—
		5	〔5極〕PS-5R (10 kΩ抵抗付)	〔5極〕PS-5RL (5 kΩ抵抗付)
		1専用	〔単極〕NPS-1R (10 kΩ抵抗付)	〔単極〕NPS-1RL (5 kΩ抵抗付)
80型		2	〔2極〕NPS-2 (抵抗なし)	
		3	〔3極〕NPS-3R (10 kΩ抵抗付)	〔3極〕NPS-3RL (5 kΩ抵抗付)
		4	〔4極〕NPS-4R (10 kΩ抵抗付)	—
		5	〔5極〕NPS-5R (10 kΩ抵抗付)	〔5極〕NPS-5RL (5 kΩ抵抗付)
		1専用	〔単極〕NPS-1R (10 kΩ抵抗付)	〔単極〕NPS-1RL (5 kΩ抵抗付)
50型		1専用	〔単極〕NPS-1R (10 kΩ抵抗付)	〔単極〕NPS-1RL (5 kΩ抵抗付)

使用周囲温度	-10℃～60℃ (0℃以下の場合には水結しないこと)
使用周囲気圧	98 kPa
絶縁抵抗	10 MΩ以上 (初期)
耐熱性	100℃±3℃ 3時間異常なし
制御できる液体	導電性のよい液体 飲料水・工業用水・汚水 弱アルカリ・弱酸の液体 (塩酸系を除く)
電極棒間の抵抗	長電極棒と短電極棒の抵抗は、標準型で5 kΩ以下、遠距離型で3 kΩ以下において確実に動作します。(定格電圧にて)
電極棒	SUS 304ステンレス 浄水、下水、弱アルカリ、弱酸などの液体に使用できます。
強力電極棒	SUS 316ステンレス 特に耐食性が要求される液体にご使用ください。

施工方法

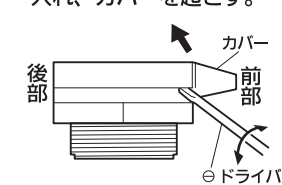
(54型と80型はカバーと電極支持器が共通です)

54型

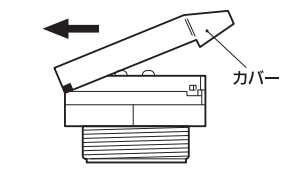


①カバー・電極支持器をはずす。

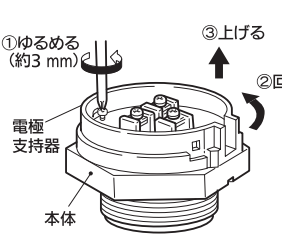
1. ①ドライバーを前部の溝に入れ、カバーを起す。



2. カバーを後ろへスライドさせてははずす。

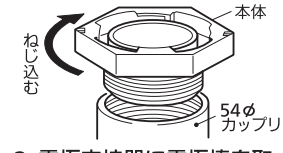


3. 回転防止ネジをゆるめ、電極支持器を左に回し、上に上げてははずす。

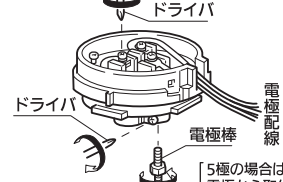


②施工手順

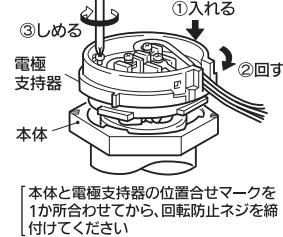
1. 本体をあらかじめ施工されているφ54カップリングにねじ込む。



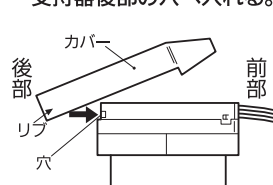
2. 電極支持器に電極棒を取付け、端子へ結線する。



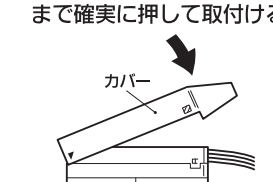
3. 電極支持器を本体に取付ける。



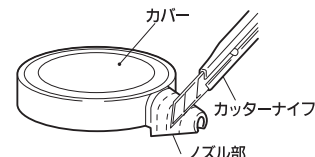
4. カバー後部のリブを電極支持器後部の穴へ入れる。



5. カバー前部をパチンと音がするまで確実に押し取付ける。

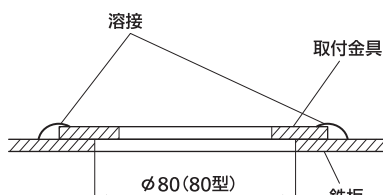


● カバーノズル部は配線の太さに応じてカッターナイフなどで切ってください。



●溶接取付

1. 鉄板に穴(80型はφ80・50型φ50)をあける。
2. 取付金具から電極支持器と取付ネジをはずす。
3. 取付金具を鉄板に溶接(3～4ヵ所)する。
4. 電極支持器のカバーをはずし、電極棒の取付けおよび端子への結線をする。(54型参照)
5. 電極支持器を取付金具に取り付け、フロートレス本体と結線する。

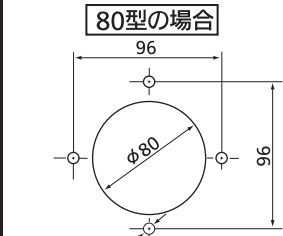


80型・50型

単位:mm

●フランジ取付

1. 所定の位置に穴をあける。



2. 電極支持器を取付金具からははずす。



3. 電極支持器のカバーをはずし、電極棒の取付けおよび端子への結線をする。(54型参照)

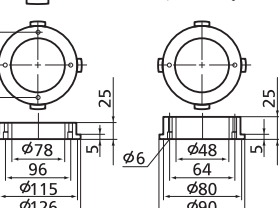
4. 取付金具を取付ける。

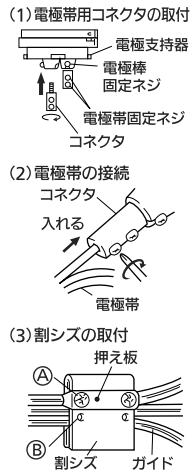
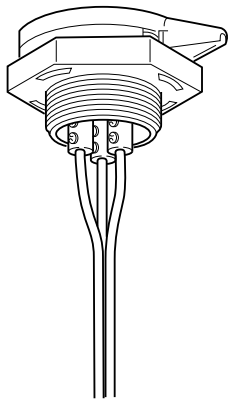
5. 電極支持器を取付金具に取付け、フロートレス本体と結線する。



●コンクリート埋込取付

1. 埋込取付枠をコンクリートに埋込込む。
2. 取付金具を埋込取付枠に取付ける。
3. 電極支持器のカバーをはずし、電極棒の取付けおよび端子への結線をする。(54型参照)
4. 電極支持器を取付金具に取付け、フロートレス本体と結線する。

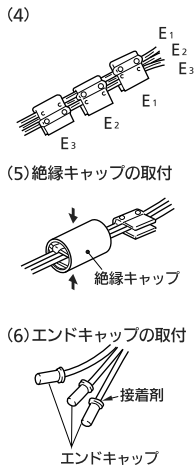




(1)電極帯用コネクタの取付
電極支持器の電極棒穴にコネクタを十分ねじ込み固定する。
(電極棒固定ネジとコネクタの)電極棒固定ネジを同一線上にしてください

(2)電極帯の接続
電極帯の先端を被ふくをしたままコネクタに入れ、ネジ2本を十分締付ける。
(電極帯の芯線とコネクタは)接触導通します

(3)割シスの取付
電極帯に割シス(電極)をはさみ、ネジ2本を十分締付ける。
(Ⓐ、Ⓑどちらかのネジ穴を使ってください)
(電極帯のガイド(溝)を割シスの)ネジ削りにしてください。押え板で電極帯を確実に押えてください



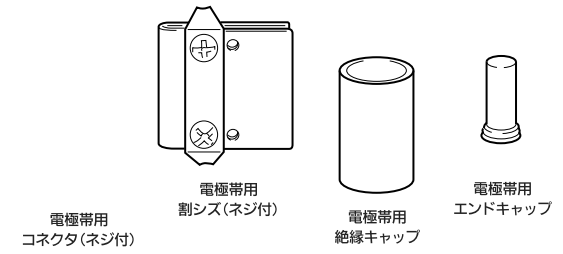
(4)割シスはそれぞれの高さを変えて取付けます。これが液体と導線との接触面になりそれぞれが短(E1)、中(E2)、長(E3)電極となります。

(5)絶縁キャップの取付
絶縁キャップを割シスに取付ける。(水槽と電源との接触による誤動作防止のため)
(絶縁キャップは少し変形させて取付けてください。(冬期は少し暖めてから変形させてください))

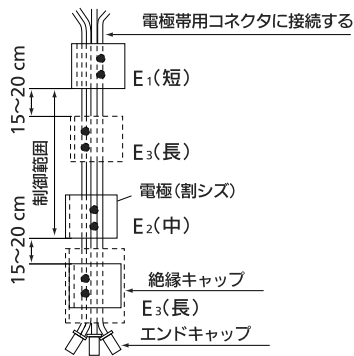
(6)エンドキャップの取付
エンドキャップを電極帯先端に取付ける。
(水が侵入しないよう、接着剤で)確実に取付けてください

AF 103電極帯用付属品セット内容

品番	品名	入数
AF 5101	電極帯用コネクタ(ネジ付)	3
AF 5102	割シス(//)	3
AF 5103	エンドキャップ	3
AF 5104	絶縁キャップ	3
AF 5105	接着剤	1



○電極帯 結線完了図



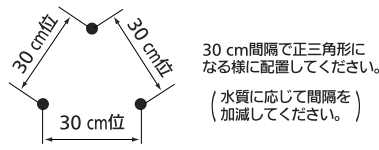
●使用上のご注意

長電極(E3)と他の電極(E0E1E2E4など)との間隔が30 以上になる場合は、それぞれの電極(割シス)の直下と間隔が15~20 になる様な位置にE3の電極(割シス)を追加して取付けてください。(上図参照)

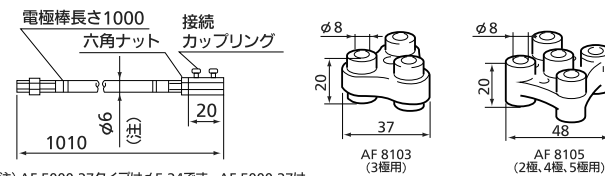
注)割シスの位置変更は、極力避けてください。万一変更する場合は、不要になった穴を接着剤(AF 5105)で確実にふさいでください。

■ご注意

- 標準型と遠距離型は、保持器の抵抗が異なります。間違いないようご注意ください。標準型には10 kΩ抵抗付を、遠距離型は5 kΩ抵抗付の保持器をご使用ください。
- 2線式としてご使用の場合は袋の中の抵抗器—標準用白(10 kΩ)、遠距離用黒(5 kΩ)を保持器のE1E2端子間に接続してください。
- 汚水槽の制御には、誤動作を避けるため、3極保持器、5極保持器に代えて単極保持器3~5個をご使用ください。



- 電極棒(電極帯)は年に1~2回の清掃をしてください。(汚水では頻りに点検、清掃をしてください)
- 電極棒どうしの接触防止のため、セパレータをご使用ください。

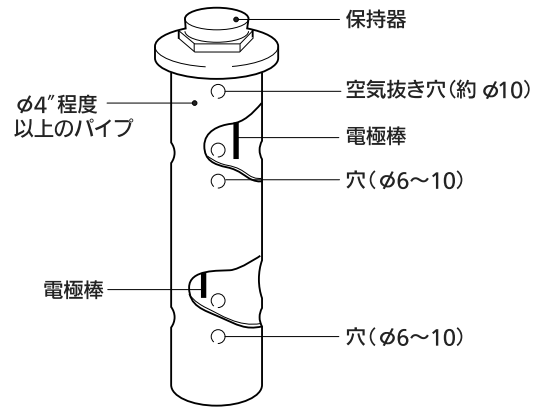


注) AF 5000-27タイプはφ5.24です。AF 5000-27は1本AF 5001は2本、スジ目が入っております。

○防波管を取付ける場合

- φ4" (インチ)程度以上のパイプをご使用ください。
- パイプ上部に約φ10(mm)の空気抜き穴をあけてください。
- 防波管内は、管外に比べ、電気水路が狭くなるため、水抵抗が高くなります。動作安定のため、各電極棒の先端近辺にφ6~φ10(mm)程度の穴を4つ以上対向するようにあけ、管内の液の循環をよくしてください。

(特に電極帯を使用する場合顕著にあらわれますので、穴の数を多くするか、穴径を大きくしてご使用ください)



⚠危険



●ガソリン、灯油、重油などの液体には使用しない
~守らないと爆発や火災の原因になります~

⚠注意



- 点検や修理は電気工事店へ依頼する(この説明を提示する)
~不良工事は火災の原因になります~
- 電気工事店へ5年に1回程度端子ネジの増締め依頼をする
~端子ネジのゆるみは発熱・発火の原因になります~

■取扱上のご注意



す。